

山田地区の防潮堤の避難路は

徒歩避難者用の避難階段を設置

問 津波警報で門扉が閉じられた際に仕事に従事している方々や観光客の避難路は。

佐藤町長 緊急時に門扉が閉鎖された場合には、避難車両は乗り越し道路、徒歩避難者は避難階段を使用する。可能な限り徒歩避難者が最短ルートで避難できる避難階段の設置を進める。

問 門扉の閉鎖方法は。消防団が行うのか。

倉本総務課主幹 Jアラート(※)の通信に連動し、自動閉鎖となる。

問 防潮堤は県営事業だが、避難階段を設置する間隔は。

甲斐谷水産商工課長 箇所数とスムーズに避難できる方法について検討しているようである。

ことば

〈※Jアラート〉人工衛星と市町村の防災無線を利用して地震や津波、弾道ミサイルの発射などの緊急情報を伝える「全国瞬時警報システム」。



防潮堤の工事が進んでいます

復興計画前倒しが可能な地区は

山田地区に力を集中投入

問 UR都市再生機構等と調整・協議を密に行い、復興計画の前倒しの可能性を検討するところがあるが、どの地区にその可能性があるか。

町長 28年度中には山田地区以外の高台団地等は引き渡し完了するた

め、町、UR都市再生機構、共同企業体の持つている力を山田地区に集中投入することが可能と考えている。

課題はあるが、待ち望んでいる山田地区の方々に一日でも早く住宅地を引き渡せるよう努める。

被災した集会施設の復旧は

地元自治会の意見を聞き検討

問 被災した集会施設等の復旧については、被災後5年が経過し、早急に検討すべきだが、どのように考えているか。

町長 被災集会施設は12施設で、復旧済みが2施設、復旧の方向性が定まっているのが4施設、支援団体と交渉中が1施設、集落再編により廃止

検討が3施設となっている。用地と事業メニューの選定が難しい北浜、飯岡の防災センターが未定の状態である。この2施設に関しては地元自治会などの意見を聞きながら検討を進めたいと考えている。

その他の質問

- ◆ 町長1期目の公約の成果はどうか
- ◆ 被災者の生活支援の対応策は
- ◆ 「山田型復興住宅」の今後の進め方は

議員 清貴 関
(政和会)

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をただすことです。